

素敵な能力に気付くちから

平成26年12月10日

富田 健一郎

もっともっと多くの方に今日の話聞いていただきたい、と思える話ばかりでした。

自分の中で、モヤモヤして言語化出来ない部分が、分かりやすくイメージ出来るよう話も多くて感動しました。福祉の現場でも「あなたのためにしているのよ」と表面上は優しい言葉をかけながらも、自分の都合の良い利用者像を押しつけていることに気が付けない、困った支援者を時折みかけます。

今まであまり思い出さなかった小学生時代の思い出が甦ってきました。

一年生の時に外国へ、日本人の全くいない言葉の通じないクラスに初めて入った時の孤独感。

4年経って帰国して、日本語は分かるのに、先生に出された宿題の内容が全く理解出来なかった時の、周りにまるであついていけない愕然とした気持ち。

外国では、自分は多種多様の中の日本人として見られていたのに、いざ日本に帰ると、周りの話題に全くついていけず、周りに合わせる強調性も欠如したままの自分に、何が起きているのか理解できずにいました。

お話の中の教育現場の支援の在り方と、福祉の現場で共通する物をたくさん感じ、とても励まされるような時間でした。